

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月21日～令和7年2月15日

公表：令和7年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩第2教室		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		靴を脱いで過ごせるマットスペースがありますが、ご利用児童の成長に伴いスペースを拡大しました。また、マットが滑りやすいため、滑り止めを貼り、安全性を高めています。	法令を遵守しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			法令を遵守しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習する場所、遊びの活動ができる場所（マットスペース）が分かりやすいように区別し、室内に活動の時間や注意書きなどの掲示物をしてあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育中、常に換気を行っています。また、毎回療育前後に清掃と消毒を行っております。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		疲れた際に休めるクールダウンスペースを用意しております。また、使用の相談があった際には必要に応じて相談室もご利用いただけます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		常勤職員の社員会議、非常勤職員を交えた支援会議を毎月実施しています。	会議において業務の進捗状況や改善が必要な事柄の共有、検討をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたご意見をもとに、業務内容の改善につなげております。	自己評価アンケートを毎年実施しております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常勤職員の社員会議、非常勤職員を交えた支援会議を毎月実施しています。	会議において業務の進捗状況や改善が必要な事柄の共有、検討をしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価機関などの評価は実施しておりません。	外部の評価を積極的に取り入れていけるようにします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修は決められた時期に行うか、あるいは受講しています。入職後の初任者研修、発達障害基礎講座Ⅰ・Ⅱを受講することを義務付けています。	発達障害学習支援サポーターの研修受講と資格取得目指します。またその機会を確保しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		オレンジスクールホームページの小岩第2教室ページにて2024年12月18日に公開しております。	今後も支援内容と職員の技能研鑽を重ねてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		情緒特性、障害特性、認知特性、学力水準の観点からアセスメントを行います。そのほか、日常生活全般の状況を通じて適切な支援内容を検討しています。	体験見学時のヒアリング、日々のご利用児童の様子やサービス提供記録へのコメント、電話等での相談、モニタリング面談など様々な情報を基にアセスメントを行っております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援者会議を行い、ご利用児童の様子について支援に携わる職員で意見を交わし、個別支援計画に反映しています。	今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育前のミーティングの際に各児童の個別支援計画項目に触れて前回ご利用の際の様子を共有することで、計画に沿った支援に繋がっています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールはありませんので、外部で行った検査結果をご家庭からいただくようにしています。	現状、ツールはありませんが、特性ごとにアセスメントを行っています。検証と支援方法の立案に日々取り組んでいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ご利用者児童の日頃の様子をもとに、保護者様からヒアリングをすることで、本人支援、移行支援、また家族支援の目標を設定しております。	ご利用者様の進学が徐々に増えてきているため、移行に向けたニーズの把握と適切な移行支援の目標設定が行えるように研鑽を重ねていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		学習支援は、教材準備担当指導員が中心となり、必要に応じて児童発達支援管理責任者と相談して教材を用意しています。毎日の療育前のミーティングで情緒面のサポートとその日の療育全体の流れをチームで話し合っています。	その課題が準備されている意図が、職員全体により周知されるよう、会議や記録での情報共有を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。	集団支援内容に関しては、繰り返し行うこともあるため、適宜内容に変更を加えつつローテーションで行ってまいります。また、創作活動など、活動内容を徐々に広げられるようにまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		学習は個別活動、遊びと集団支援を通して集団活動を行っています。対人関係スキルに関しては、遊びの活動を軸にして個別支援計画に組み込んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングを行っています。各児童の個別支援計画に触れ、前回の様子を振り返ったり、保護者からの連絡を共有しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後に、児童の気になる様子や言動などを口頭で共有した後、記録に残して翌日のミーティングで共有しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGを利用し、全職員が記録を共有できるようにしています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		5-6ヶ月（半年に必ず）1回を目安にモニタリングを行っております。ご利用児童の心身の成長、心理的な発達、目標達成度に応じて個別支援計画の作成を行っております。	今後も継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月21日～令和7年2月15日

公表：令和7年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩第2教室			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。		○		児童の意思を尊重する場面を作りながら、小集団での活動や個別の学習支援、創作活動や余暇活動を提供しています。	活動内容の充実に努めてまいります。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		○		その日の学習計画を児童のその日の調子や持参物、時間などを考慮して相談・決定しています。遊びの活動においても、何をしたいのか児童の気持ちを整理しながら選択できるように支援しています。	今後も継続していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		児童発達支援管理責任者が参加、対応しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		必要に応じて連携を行っています。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		必要に応じて連携を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○		今後、必要に応じて連携を図ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			○		前例はありませんが、必要に応じて連携を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○			今後、機会がありましたら、研修に参加していきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			○		前例はありません。今後もニーズを探ってまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			○	参加しておりません。	今後の参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○		HUGを活用し、支援終了後、その日のご利用児童の様子を写真をお伝えしています。また、電話、LINE、サービス提供記録のコメントや面談を通じて児童の状況について共有させていただいております。	今後も継続していきます。また、いつでもご相談いただける旨を保護者様に周知し、相談しやすい環境を整えてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			○		ペアレントトレーニングや研修会は行っておりません。ニーズを探りながら研修や情報提供の機会の検討をしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		運営規定、支援プログラム、利用者負担など、ご契約の際にお伝えしております。また、ご不明な点があった際には、その都度対応させていただいております。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○		ご契約の際とモニタリングの際に、ヒアリングやご利用状況を踏まえて作成した個別支援計画の説明と支援方針、個別の目標設定の確認を、保護者様や児童本人に確認しております。	児童と保護者の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮を念頭に今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○		作成した個別支援計画は必ず保護者様への説明と確認を経て同意を得ています。	今後も継続していきます。
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		その日のサービス提供記録にコメントをいただいたり、電話、LINE、面談などでご相談いただいております。	今後も継続するとともに、どのご利用者様も気兼ねなくご相談いただけるようにご相談方法を周知していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			○		実施に至っておりませんが、ニーズを基に今後検討していきたいと思っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		ご契約の際に、ご相談いただける体制の整備がされている等の説明を行っております。	アンケート結果より、実際にご相談にならずに悩まれているご家庭もあることを鑑み、お気軽にご相談いただけることを個別に連絡したり、モニタリング面談の際にお伝えして周知してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		オレンジスクールのホームページ上で小岩第2教室のブログを毎月更新しております。	ホームページやブログの周知を定期的に行ってまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		ロッカー、書庫、事務室等、個人情報の保存場所には施錠を義務付け、徹底しております。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		筆談や気持ちカードを使用することで意思疎通の手段ややりとりを円滑にできるように工夫しています。	今後もご利用児童に合った方法を工夫し、継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		感染症の流行状況も踏まえ、事業所の行事を行っておりません。	ご家庭、ご利用児童のニーズを踏まえた上で、行事の開催等を検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し、職員間で共有しています。	ご家庭への周知に努めてまいります。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和7年1月21日～令和7年2月15日

公表：令和7年3月31日

	チェック項目	事業所名		工夫していると思う点	改善策
		はい	いいえ		
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、年に2回ご利用児童を含めた避難訓練を実施しています。	ご利用児童を含めた避難訓練の様子はブログで公開しております。訓練の実施とそれに様子を保護者様に周知していきます。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用を開始されるにあたり、てんかん・アレルギー確認票のご提出ご協力をいただいております。エビエンの所持やてんかん発作等の既往歴も確認して職員間で共有しております。	今後も継続していきます。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家庭より情報をいただき、全職員に共有しています。	今後も継続していきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、計画に基づいて感染症対策や図上訓練、実際の避難訓練等を実施しており、ご利用児童の安全の確保に努めています。	今後も継続するとともに、安全計画の策定や内容の周知に努めてまいります。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、計画に基づいて研修を実施しています。	今後、安全計画に基づく取組内容の周知に努めてまいります。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例はその都度報告書を作成し、職員間で共有しています。	危険度の高い事例は特に会議で取り上げ、状況の把握や未然に防げるような視点を育てるようにしていきます。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内でマニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。また、入職した職員にも虐待防止研修を行っています。	今後も継続していきます。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関わる同意書を契約時に取り交わしており、その際に説明し了承を得ています。また、身体拘束を行う必要がある状況をつくらぬよう、環境設定や課題調整をし、適切な関わり方を行っています。	今後も継続していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	オレンジスクール小岩第2教室	公表日	2025年3月31日
利用児童数	2025年3月8日現在46名（兄弟含む）	回収数	29(一世帯1通配布)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1		4		・体験見学の際に保護者の皆様から児童発達支援管理責任者がヒアリングを行っております。実際に指導室に入った経験はその際のみ、という方が大半かと思えます。指導室がどのような広さで実際にどのような活動を行っているのか等、体験できる機会を検討したいと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		3	・毎回固定ではなく、いろんな先生にご担当頂けて、どの先生の時も安心して過ごせていると思います。	・職員配置は1日に4名から5名で、法令を遵守した配置数となっており、また専門性を備えております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26				2	・子供が自分の居心地のよい集中できる席を自分で選んで座らせて頂いているのがとてもよいと思います。集中が苦手な息子でも、ヘッドホン（イヤーマフ）を着用する等のご配慮頂き（学習時）息子もめめちゃくちゃ集中出来ると家でも話をしてくれました（項目4から7にかけて）。	・療育前後での清掃、消毒を毎回行っております。また、利用児童のみなさんが落ち着いて過ごせるように靴を脱いで過ごせるマットスペース、目線を避ける仕切りのあるクールダウンスペースがあります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1		1	・その時の様子に合わせて活動内容なども考えてくださっていて、とてもありがたいです。	・ご利用されたその日の様子に合わせて、学習時間や学習量、遊びの活動、休憩などをご本人に相談して過ごせるようにしています。また、ご家庭での様子とこちらでの振る舞いが別人のように感じられるとお話される保護者様もいらっしゃいます。保護者様からの丁寧なヒアリング、ご利用児童に丁寧に接することで、ニーズを満たしていけるようにいたします。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					・今後も保護者様のニーズをとらえ、ご利用児童の実際の様子に即した個別支援計画を作成していけるように努めてまいります。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28					・支援プログラムや計画については、子供の事を本当に良くご理解頂いており、親の要望についてもきめ細かく盛り込んで下さっています。無理のないペースで子供も頑張れたと自信を持てるように、内容も取組方についてもご配慮頂けると幸いです。	・ご利用された際の児童本人の様子にとどまらず、6ヶ月に1回実施されるモニタリングで、保護者様からいただける学校やご家庭での様子などから、支援内容の検討をしています。今後も放課後等デイサービスガイドラインに沿って各ご利用児童に合った支援内容を設定していけるように努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2			5	・まだ通所し始めたばかりなので（「わからない」に記入した）。	・個別学習、集団支援、アナログゲームを通じたソーシャルスキルトレーニングを支援の軸に据えています。今後、創作活動の充実などを通して活動プログラムが固定化されないよう工夫してまいります
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	4	6	11		・デイサービス以外でそういった機会がある為現状のままで良いです。	・ご利用者様のニーズにあった対応を考えていきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				・丁寧に説明頂けております。問合せした際にも詳しく教えて頂きました。	・運営規定、支援プログラム、利用者負担など、ご契約の際にお伝えしております。また、ご不明な点があった際には、その都度対応させていただいております。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28							

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	4	8	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリで（ご利用時の）様子を伝えてくれるのでありがたい。 ・研修会等はありませんが、個別に親身にご対応頂けているので、特に必要は感じません。 ・機会があれば参加したいと思います。 家族の（利用されている）児童への理解がなかなか得られない事があるので、そういった会があると良いなと思いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズに即して研修会や情報提供の機会ができる場の検討をしたいと思います。 	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25		1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供だけでなく、親の相談にも乗って頂き、親子ともに支えて頂いていると思います。先生方のフィードバックも毎回とても丁寧に様子を教えて下さり、学校や家庭での様子と照らし合わせて振り返ったり、子供とも会話し、接し方の参考にさせて頂けています（項目15から17にかけて）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用時の様子を、その日のうちにサービス提供記録で写真を交えてお伝えしています。その他、電話、LINE、面談などでいつでもご相談いただけます。今後も細やかなやりとりを通して共通理解を築いていけるように努めてまいります。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1			2	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ通所し始めたばかりなので（「わからない」に記入した）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1度、児童発達支援管理責任者が保護者様とそれまでの半年のご利用児童の様子と今後の支援についてお話をするモニタリング（面談）がございます。その他にも、お電話、LINEなどを通じていつでもご相談いただけます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				<ul style="list-style-type: none"> ・子供が疲れた〜とこぼした時も、出来たところまでの取組みを認めて、気持ちに共感して下さる事で、自分から切替えて頑張っています。子供の気持ちに寄り添ってくださる先生方です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用児童、保護者の皆様のそれぞれの状況を踏まえて支援できるよう、今後も職員一同研鑽を重ねてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	11		8	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で満足しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの様々なニーズがございますが、研修会や保護者会など保護者様同士の交流できる機会を検討をしていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子や学校、放課後の様子についても共有頂き、都度、きめ細やかにアドバイス頂けております。ありがとうございます（項目19、20にかけて）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約の際に、ご相談いただける体制の整備がされている等の説明を行っております。しかし、アンケート結果より、実際にご相談にながらずに悩まれているご家庭もあることを鑑み、お気軽にご相談いただけることを個別に連絡したり、モニタリング面談の際にお伝えして周知してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2			3		<ul style="list-style-type: none"> ・体験見学の際に災害時対応マニュアル（地震、台風、大雨、大雪）についてご説明させていただいております。小岩第2教室のホームページやブログ、モニタリング面談などを通じて周知、ご説明していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1			6	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練のある日に利用した事が無いですが日頃より安全確保頂けていると思います（項目24から26にかけて）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員のみで行う図上訓練の他、年に2回（2日）、ご利用児童も含めた避難訓練を行っております。小岩第2教室のブログにその時の様子を載せております。今後、関連記事のブログを更新した際に周知してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26				2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24				4		

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28			<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着ける場所のようで、親も安心しています。 ・子供が興味を持った事から学びや先生との会話、遊び、お友達との関わりまで広がって下さり、毎回楽しかったと帰って来てくれ、その日作ったものを見せて嬉しそうに話をしてくれます。充実した時間をありがとうございます（項目27から29にかけて）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる指導員との信頼関係の構築をはじめ、他のご利用者様も穏やかに過ごせること、指導室がどのお子様にとっても居場所と感じられるように職員一同努めております。お子様が様々な活動に参加していけるように土台となる安心感の醸成に今後も努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	3		<ul style="list-style-type: none"> ・（最近ご利用児童が）すくすく（スクール）で友達と遊びたい気持ちが強くなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でのお友達との関わりが活発になり、生活の場で交友関係が広がることは喜ばしいことです。一方で、私どもはどのお子様も通所を楽しみにできるよう、お友達同士の関係性や支援を常に見直し、改善してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1		<ul style="list-style-type: none"> ・（「はい」に記入しているが）ただし、もう少し本人の学力レベルに合った学習をお願いしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用日数の関係で教室で用意したプリントへの取り組みが進まないこともございます。それぞれのご利用状況やお子様の様子、学習の進捗に合わせて学習プリントの用意をしてまいります。

事業所における自己評価総括表

事業所名	オレンジスクール 小岩第2教室										
保護者評価実施期間	2025年	1	月	21	日	～	2025年	2	月	28	日
保護者評価有効回答数	対象数	44	家庭	・	回答数	28	家庭				
従業者評価実施期間	2025年	1	月	21	日	～	2025年	2	月	15	日
従業者評価有効回答数	対象数	6	名	・	回答数	6	名				
事業者向け自己評価表作成日	2025年	3	月	13	日						

分析結果

	事業所の強み より強化・充実を図ることができる	工夫・意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児童の利用時の様子のフィードバックや保護者様からのヒアリングを丁寧に行い、個別支援計画への反映と実際の支援（療育）へと繋げていること。	サービス提供記録を通じてその日の児童の様子をお伝えし、保護者様よりコメントなどをいただいています。また、気になる様子やコメントいただいた内容を次の療育の際に留意すべき点を療育前のミーティングで職員で共有し、また児童への共通理解の形成を図っています。	それぞれのご利用児童の変化や保護者様の意向を汲みながら支援をしておりますが、全てのご利用者様にご満足いただけるように、日々の療育でご利用児童により細やかに関わっていく必要を感じております。また、どのご家庭もお気軽にご相談いただけることを周知しながら、実際にご相談しやすいように日頃のやりとりを重ねていきます。
2	ご利用児童が安心して過ごせる居場所となっていることが多く、児童と職員の間、児童同士がつながることで穏やかに活動することが出来ていること。	指導員との関わりを通じて、児童同士で同じ遊びの場や会話の場を過ごすことを通じて、次第に児童同士で過ごせるようになっていきます。また、仲がよくなってきていても、互いに嫌なことがあった際には職員を介して関係を修復する経験を重ねています。	他児童との関わりにより一歩引いてしまい苦しさを感じる児童や、成長する中で読書など1人活動を中心に過ごすお子さんもいます。どのような活動をしていても、ご本人の意向を尊重しながらも独りで過ごすことがないように、声を掛けて繋がりを続けてまいります。
3	(療育に関して) 構造化した活動を通じた学習習慣の形成と気持ちの切り替えの上達。	来所した際の児童の様子を踏まえて学習量や学習時間等の調整を行っています。学習量、内容、時間等を意識しながら取り組みを続ける中で、(このくらいの宿題の量だったら出来そうだな)と児童が見通しを持てるようになっていきます。また、気持ちの切り替えは(△△だから仕方ない、代わりに〇〇すればよい)など、指導員と相談する中で次第に折り合いをつけられるようになっていきます。	気持ちの切り替えは、指導員を頼りながら一緒に行っていくことで、上手になっていきます。ご利用児童が指導員を信頼して、助言を受けたり話をすることで、(そういう考え方もあるのか) (なるほど) と思えるように丁寧に関わりを続けていきます。

	事業所の弱み 事業所の課題や改善点	課題の要因等	改善の取組や工夫が必要な点等
1	基軸としている個別学習、集団支援、遊びの活動以外の活動内容の充実	開所から徐々にご利用人数を増やしていき、土曜日開所もいたしました。その間、児童が安全に活動できることを第一にしていまいりました。	今後、工作などの活動を徐々に増やしていきたいと考えています。
2	様々な状況にあるご利用児童への理解と対応力	ご利用児童のその日の気持ちの浮き沈みに対して、児童が落ち着くまでに対応に時間を要することがあるため、共感性とその日どのように支援していくのかを組み立てていく指導力の不足があります。	ご利用児童の気持ちを汲み取るなど、指導員の共感性の向上が必要で、ミーティングを通して児童の留意すべき点を共有して認識を高めていきます。また、同時に他のご利用児童の様子を把握しながらその日の児童に合わせてどのように活動予定を立てていくかの訓練を、療育の中で意識的に行っていきます。
3	職員研修や安全訓練（図上訓練、児童を含めた避難訓練等）を実施していることの周知。また、保護者会や保護者向けの研修会の機会の設定。	職員研修や事業継続計画（BCP）に沿った研修や訓練を行っており、ご利用児童を含めた避難訓練などもブログで取り扱っているが、ご利用保護者様全体への周知が行き届かない点がありました。	今後、行った研修や訓練などをブログ内記事で取り扱い、ホームページとブログの周知と併せて進めていきます。